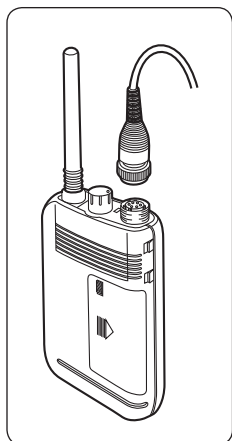


このたびは、TOA 携帯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■ 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

内部を開けない、改造しない

機器が故障したり、金属物が入ると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

充電は専用の充電電池と専用の充電器を使用する指定以外の充電器を使用すると、電池の破裂・液もれにより火災・けが・周囲汚損の原因となります。



強制



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が障害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

音量は最小に、相手の声を聞きながら徐々に上げる電源スイッチと音量ボリュームが兼用になっています。音量ボリュームは相手の声を聞きながら、徐々に大きくするようにしてください。音量ボリュームが上がっていると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。



強制

電池の液もれに注意する

半月以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて、けが・周囲汚損の原因となることがあります。



強制

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- 金属物といっしょに携帯、保管しないでください。
- ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 充電式電池以外は充電しないでください。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 指定した電池をご使用ください。
- (十)と(一)に注意し、表示どおり正しく入れてください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。



強制

■ ニッケル水素電池をご使用のお客様へ

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください



Ni-MH

本機はニッケル水素電池が使用できます。ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出してリサイクルへご協力ください。使用済みのニッケル水素電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

■ 概要と特長

- 本機は、特定小電力無線局用に割り当てられた、400 MHz 帯の電波を使用した送信出力 10 mW の携帯機です。無線局免許が不要のため、すぐにご使用になれます。パチンコ店、スーパーマーケット、ディスカウントショップやレストランなどの従業員連絡用として最適です。
- 据置機、中継機などと組み合わせて使用することができます。
- プレストークの交互通信方式なので、システム内の携帯機や据置機の台数に制限がありません。
- 設定により、中継機あり、中継機なしのいずれのシステムにも対応でき、中継機なしの場合は 11 チャンネル、中継機ありの場合は 16 チャンネルの中から使用するチャンネルを選択できます。
- 静かに待ち受けできるトーン機能付きです。トーン機能とは、待受時に他の無線からの混信を防ぐための機能です。相手側とは送受信周波数とトーンが一致したときに通話できます。トーンは、トーンなしを含め 16 種類の中から選択できます。
- 乾電池での使用以外に、充電電池でも使用できます。(専用充電電池と専用の充電器が必要です。)

■ ご注意

本機にはマイク、スピーカーなどは付属していません。別売品のタイプイン型マイクイヤホン、マイクスピーカー、ヘッドセットなどが必要です。

■ 使用上のご注意

本機をご使用になる前に必ずご一読ください。

- 本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
- 本機の分解、改造およびアンテナの付け換えは、電波法で禁止されています。絶対にしないでください。
- 本機の後面に貼り付けている証明ラベルは絶対にはがさないでください。証明ラベルをはがすと、電波法による技術基準適合証明の効力を失い、使用できなくなります。
- パソコン、ファクシミリ、コピー機、自動販売機などの、コンピューターを使用している機器から強い高周波雑音が出ている場合があります。これらの機器からできるだけ離してご使用ください。
- テレビ、ラジオ、その他の公共通信などに雑音が入ったり混信が生じたときなどは、本機の使用を中止してください。放送局や無線局の近くでは、混信したり、音声途切れる恐れがあります。注意してご使用ください。
- 使用できる電池は、専用充電電池、単 3 形アルカリ乾電池、または単 3 形マンガン乾電池です。他の電池を使用すると正しく動作しないことがあります。
- 日常生活における防滴構造にはなっていません。本機を水の中に入れたり、水道やシャワーなどが直接かかる場所での使用は絶対にしないでください。水滴がかかったときは、乾いた布で十分にふき取ってください。
- ボディの汚れは乾いた布で軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。
- アンテナを握って本機を持ち歩かないでください。故障の原因となります。
- 本機を床に落したり、かたい物に当てないでください。故障の原因となります。
- 自動車のダッシュボードの上など、高温になる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 振動やほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

■ 各部の名称とはたらき

[上面]

① 送信／受信ランプ

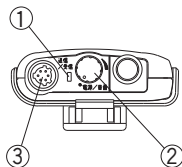
送信時は赤色に点灯します。
受信時は黄色に点灯します。(トーンが異なる
ときは約 0.5 秒ごとに点滅します。)
待受時は約 2 秒ごとに黄色の点滅をします。

② 電源／音量つまみ

③ コネクター

別売のタイピン型マイクイヤホン、マイクスピーカー、またはヘッドセットを接続するコネクターです。

※ 本機にはマイク、スピーカーなどが付いていません。



[前面]

④ アンテナ

⑤ ロックつまみ

下の方向に下げると電池カバーのロックが解除され、電池カバーを外すことができます。

⑥ 電池カバー

⑦ 中継機能スイッチ

中継機がシステムにあるかないかに応じて、「有 (ON)」または「無 (OFF)」に切り換えるスイッチです。

⑧ モニタースイッチ

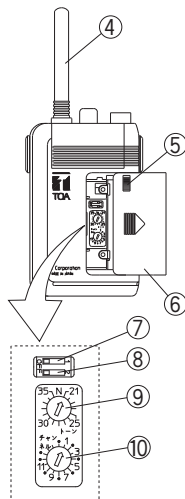
モニター機能を「有 (ON)」または「無 (OFF)」に切り換えるスイッチです。電波の使用状況を確認するときなどに使用します。

⑨ トーンスイッチ

トーンを切り換えるスイッチです。同一チャンネルを使用していても、同一のトーンに設定した相手とだけ通話が行えます。トーンの異なる相手の通話は聞こえないので、静かに待ち受けできます。

⑩ チャンネルスイッチ

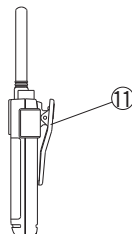
チャンネルを切り換えるスイッチです。混信するときはチャンネルを切り換えてください。



- 5 -

[側面]

⑪ クリップ



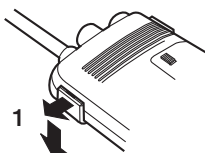
■ 付属品 (クリップ・ソフトケース) について

● クリップの使いかた

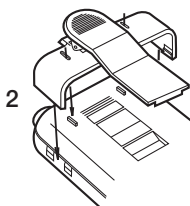
クリップを使用して本機をベルトや胸のポケットに装着できます。

● クリップの取り付け、取り外しかた

1. ホルダーのつめを起こして取り外してください。



2. 取り付ける場合はカチッと音がするまではめ込んでください。



● ソフトケースの使いかた

落下防止のため、ソフトケースを使用してベルトに装着してください。
※ クリップを付けたままでもソフトケースを使用できますが、少し入れにくくなります。

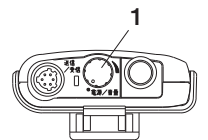
※ シャがむときや本機を引っかけたときなどにクリップのみの装着では落下することがあります。ベルトに装着するときは、できるだけソフトケースを使用してください。

- 6 -

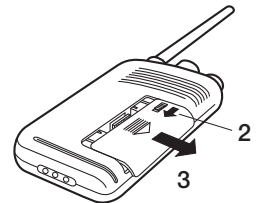
■ 電池について

● 電池の入れかた

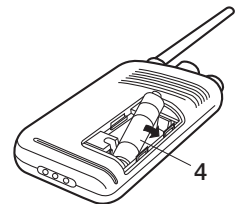
1. 電源／音量つまみを左いっぱいに戻し、電源を切ります。



2. ロックつまみを矢印の方向にすべらせ、ロックを解除します。



3. 電池カバーを押しながら矢印の方向にすべらせて本体から外します。



4. 電池収納部の十とーで示された向きに正しく電池を入れます。

5. 電池カバーを元どおりに差し込みます。

- 7 -

● 使用できる電池

使用できる電池は、専用充電電池、単 3 形アルカリ乾電池、または単 3 形マンガン乾電池です。店内連絡用などで毎日使用するときは、充電式の専用充電電池をおすすめします。

● 充電式電池で使用するとき

充電式としてご使用になるときは、次の事項にご注意ください。

- 別売の専用充電器をお買い求めください。
- 充電器に付属または別売の専用充電電池 (WB-2000 または WB-1000A) を使用してください。
- 専用充電器および専用充電電池以外は使用できません。
- 充電するときは本機の電源スイッチを切ってください。
※ 「充電のしかた」は充電器の取扱説明書をご覧ください。

● 電池持続時間の目安

● 送信：受信：待受＝1：1：8 の使用比率 (20% 使用) のとき

	専用充電電池 (WB-2000)	専用充電電池 (WB-1000A)	アルカリ 乾電池
電池持続時間	約 28 時間	約 16 時間	約 30 時間
充電器	BC-1100A-4 または BC-1100A-12		—

● 送信：受信：待受＝1：1：18 の使用比率 (10% 使用) のとき

	専用充電電池 (WB-2000)	専用充電電池 (WB-1000A)
電池持続時間	約 36 時間	約 20 時間
充電器	BC-1100A-4 または BC-1100A-12	

【ご注意】

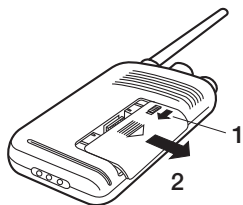
充電電池の持続時間の目安は、満充電後のものです。

- 8 -

■ 設定のしかた

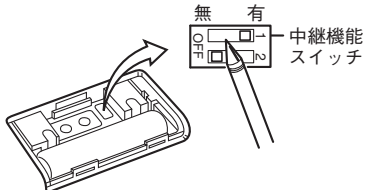
● 電池カバーの外しかた

1. ロックつまみを矢印の方向にすべらせ、ロックを解除します。
2. 電池カバーを押しながら矢印の方向にすべらせて本体から外します。
3. 設定が終了すれば、電池カバーを元に戻し、ロックします。



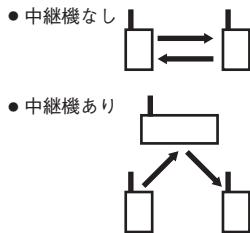
● 中継機能の設定

システム内に中継機がある場合は、図のようにボールペンの先などで中継機能スイッチを「有 (ON)」に設定してください。(出荷時は「無 (OFF)」に設定されています。)



[中継機能について]

中継機がないシステムの場合は、据置機や携帯機から送信された電波を、据置機や他の携帯機で直接受信しています。
中継機があるシステムの場合は、据置機や携帯機から送信された電波は、中継機で異なる周波数に変換されて、再送信されます。他の携帯機で受信している電波は、この中継機から再送信された電波です。



【ご注意】

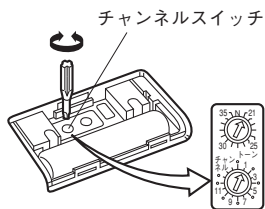
中継機があるシステムの場合は、据置機や携帯機間の距離が近くても、中継機に電波が届かないと通話することができません。中継機に電波が届かない所から送信しようとする、「ツーツー」音が鳴ります。「ツーツー」音が鳴るのは、この場合以外に、他の電波が出ているときに送信しようとした場合です。)

- 9 -

● チャンネルの設定

チャンネルスイッチの矢印を付属のドライバーで設定したいチャンネル (中継機なしのとき: 1 ~ 11、中継機ありのとき: 1 ~ 16) に合わせます。(出荷時はチャンネル 1 に設定されています。)

※ 他で使われていないチャンネルに設定してください。チャンネルが使われているかどうかは、モニタースイッチを「有 (ON)」にしてチェックします。

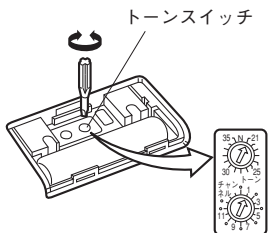


【ご注意】

- 電源を入れたままでもチャンネルの設定が行えます。
- チャンネルスイッチの矢印を、中継機なしのとき: 1 ~ 11 以外の所に設定したときは、警告音「ピー」がなります。チャンネルを正しく設定し直してください。
- 中継機あり、中継機なしで、チャンネル 1 ~ 11 は表示は共通ですが、実際に使用している周波数は異なります。

● トーンの設定

トーンスイッチの矢印を付属のドライバーで設定したいトーン (21 ~ 35) に合わせます。(出荷時はトーン 21 に設定されています。)



【ご注意】

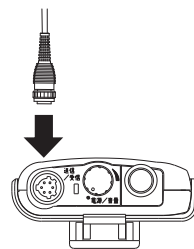
- 電源を入れたままでもトーンの設定が行えます。
- トーンの設定が異なるときは、同一チャンネルの電波を受信しても相手の音声は聞こえません。このとき、送信/受信ランプは約 0.5 秒ごとの黄色の点滅をします。
- トーンなし (矢印が「N」の位置) に設定すると、同じチャンネルを使用している人の音声は、相手がトーンを設定していても聞こえます。また、受信時 (相手の送信終了時) に「ボツ」というノイズが混じることがあります。

- 10 -

■ 操作のしかた

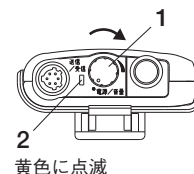
【ご注意】

操作の前にタイピン型マイクイヤホン (別売)、ヘッドセット (別売)、またはマイクスピーカー (別売) を接続してください。



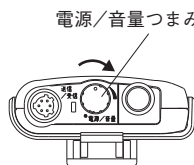
● 電源の入れかた

1. 電源/音量つまみを時計方向に回します。「カチッ」と音がして電源が入ります。
2. 送信/受信ランプが約 2 秒ごとに黄色に点滅し、待受状態に入ります。



● 音量の合わせかた

通話の音声を聞きながら、電源/音量つまみを回して適当な音量に調節します。



注意

音量が大きすぎると耳を痛める恐れがあります。イヤホンを使用するときは、イヤホンを装着後、電源/音量つまみをゆっくりと時計方向に回して調節してください。

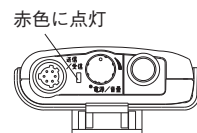
- 11 -

● 通話のしかた (送信・受信)

1. マイクの側面についている送信スイッチを押します。



2. 「ピッ」という音とともに、送信/受信ランプが赤色に点灯し、送信状態になります。



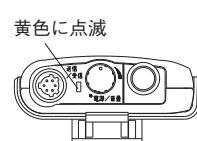
3. マイクに向かって話してください。



4. 話し終わったら、送信スイッチを離してください。



5. 「ピッ」という音とともに、送信/受信ランプが消灯し、待受状態になります。送信/受信ランプが約 2 秒ごとに黄色に点滅します。



6. 受信すると、送信/受信ランプが黄色に点灯し、イヤホンまたはスピーカーから相手の音声聞こえます。

※ 送信スイッチを押していないときは、「待受または受信」状態です。
※ イラストではタイピン型マイクイヤホンを使用しています。

- 12 -

ご注意

- 本機が送信状態になった直後は、一呼吸おいてから話してください。すぐ話し始めると音声のはじめの部分が欠けます。
- 連続して通話できる時間は、送信受信を行ってから3分間です。通話時間が3分になったとき、自動的に終話となります。この後2秒間は送信が行えません。(通信積算時間制御機能)
- 送信スイッチを押しても、「ツー、ツー」と警告音が鳴り、送信できないことがあります。2通りの場合が考えられます。①すでに他の人が同一チャンネルで送信しているためです。他局の通話が終了してから送信スイッチを押してください。(キャリアセンス機能) ②中継機があるシステムの場合で、中継機まで電波が届かないためです。
- システム以外の電波(異なるトーンの電波)を受信すると、送信/受信ランプが約0.5秒ごとの黄色の点滅に変わります。この場合、妨害電波があるか近くで同じチャンネルを使用している可能性がありますので、チャンネルを変更してください。

● 送信/受信ランプの状態表示について

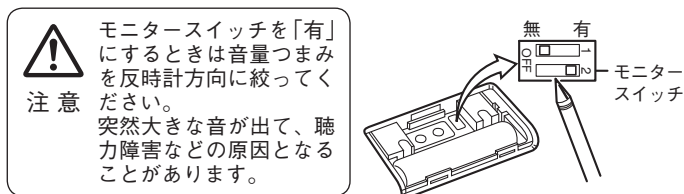
送信/受信ランプは本機の状態により下記のような表示をします。

送信/受信ランプの表示	本機の状態
約2秒ごとのゆっくりした黄色の点滅 (約2秒ごとに一瞬点灯します。)	⇒ 待受状態です。
約0.5秒ごとの黄色の点滅	⇒ 受信状態ですが、トーンが不一致のため相手の音声は聞こえません。
黄色に点灯	⇒ 受信状態です。トーンの設定をしているときは、トーンが一致している相手の音声が入ります。
赤色に点灯	⇒ 送信状態です。

- 13 -

● モニター機能

モニター「有 (ON)」に設定すると、電波の有無にかかわらず受信状態になります。このときトーンスイッチの設定は無効です。近くで同じチャンネル(周波数)が使われているかどうかをチェックできます。出荷時にはモニター「無 (OFF)」に設定されています。モニタースイッチを図のようにボールペンの先などで設定してください。



■ 故障かな?と思ったら

症状	点検項目	処置
電源が入らない。	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。 充電式電池の場合は、充電してください。
	電池の極性が間違っていないですか？	電池を正しい位置に入れ直してください。
「ザー」という音が出る。	モニタースイッチが「有 (ON)」のままになっていませんか？	モニタースイッチを「無 (OFF)」にしてください。
送信できるが通話できない。(送信/受信ランプは赤色点灯。)	中継機があるシステムなのに、中継機なしに設定されていませんか？	中継機能スイッチを「有 (ON)」に設定してください。
送信できない。	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。 充電式電池の場合は、充電してください。
	マイクイヤホンまたはマイクスピーカーのコネクターが正しく接続されていますか？	マイクイヤホンまたはマイクスピーカーのコネクターを正しく接続してください。

- 14 -

症状	点検項目	処置
送信できない。(ツーツー音が鳴っている。)	他のシステムの電波またはコンピューターなどの妨害電波を受けていませんか？(モニターにより確認してください。)	チャンネルを変更してください。
	他の人が同じチャンネルで通話していませんか？	他の人の通話が終了してから再度送信してください。
	中継機があるシステムの場合、中継機まで電波が届いていないではありませんか？	中継機またはアンテナに近い所に移動してください。
	中継機がないシステムの場合、中継機ありに設定されていませんか？	中継機能スイッチを「無 (OFF)」に設定してください。
受信できない。	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。 充電式電池の場合は、充電してください。
	音量が小さすぎませんか？	音量を適切な大きさに上げてください。
	チャンネルが合っていますか？	チャンネルを合わせてください。
	トーンが合っていますか？	トーンを合わせてください。
	中継機があるシステムなのに、中継機なしに設定されていませんか？	中継機能スイッチを「有 (ON)」に設定してください。
	中継機がないシステムなのに、中継機ありに設定されていませんか？	中継機能スイッチを「無 (OFF)」に設定してください。
通話が途切れる。	相手との距離が離れすぎていませんか？	相手が見える位置に移動してください。
「ピーピー」音が鳴る。	チャンネルが正しく設定されていますか？	チャンネルを正しく設定し直してください。

- 15 -

■ 仕様

電 源	DC1.2V (専用充電電池)、DC1.5V (乾電池)
無線局の種類	特定小電力無線局無線電話用無線設備
通信方式	単信または半複信 (PRESS TO TALK: プレストーク)
電 波 型 式	F3E
周波数帯域	中継機なし 422.0500 (CH1) ~ 422.1750 MHz (CH11) 12.5 kHz 間隔、11 チャンネル 中継機あり 送信: 440.0250 (CH1) ~ 440.2125 MHz (CH16) 12.5 kHz 間隔、16 チャンネル 受信: 421.5750 (CH1) ~ 421.7625 MHz (CH16) 12.5 kHz 間隔、16 チャンネル
トーンスケルチ周波数	136.5 (トーン 21) ~ 225.7 Hz (トーン 35) の 15 トーンとトーンスケルチなし
受信感度	-7 dBμVEMF 以下 (12 dB SINAD 感度)
スケルチ感度	-9 dBμVEMF 以下
送信出力	10 mW
機 能	キャリアセンス機能、通信積算時間制御機能
使用電池	専用充電電池 WB-2000*1 × 1、専用充電電池 WB-1000A*1 × 1、または単3形乾電池 × 1
電池持続時間	約 28 時間 (WB-2000*1、送信: 受信: 待ち受け = 1:1:8) 約 16 時間 (WB-1000A*1、送信: 受信: 待ち受け = 1:1:8) 約 30 時間 (アルカリ乾電池、送信: 受信: 待ち受け = 1:1:8)
使用温度範囲	-10 ~ +40℃
仕 上 げ	本体: ABS 樹脂、ダークグレー (マンセル N2.5 近似色)
寸 法	62 (幅) × 163.6 (高さ) × 32.5 (奥行) mm (突起部含む)
質 量	134 g (電池含む)
付 属 品	単3形乾電池 (R6PU)*2 1 ソフトケース 1 設定用ドライバー 1

*1 別売の充電器 BC-1100A-4 または BC-1100A-12 が必要です。

*2 テスト用としてお使いください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有 料) FAX 0570-017-108 (有 料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。
商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。 最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-07-00034-02